

令和8年6月

各市町教育委員会教育長 様
各 小 中 学 校 長 様
各 小 中 学 校 教 職 員 様

愛媛県教育研究協議会会長 森脇 和夫
同 教育研究局長 杉澤 嘉穂
同 国語委員会委員長 渡部 和寛

第78回 愛媛県国語教育研究大会（今治・越智大会） 御 案 内

《研究主題》
確かで豊かな言葉の力を育む深い学びの探究

皆様には、ますます御健勝のこととお喜び申し上げます。
さて、標記の研究大会を、次のとおり開催いたします。

戻り来て瀬戸の夏海絵の如し

高浜 虚子

今治市の糸山公園にこの句碑があります。来島海峡と瀬戸の島々を一望できる場所です。この句から思い描く情景や心情は、読み手一人一人によって異なります。同じ言葉に触れていても、経験や知識、言葉の捉え方によって見え方や感じ方は変わり、他者との対話を通して、新たな意味や価値を見出すこともできます。国語科で育成する「確かで豊かな言葉の力」とは、言葉を正確に理解し表現する力だけでなく、言葉を通して多様な見方や考え方に触れ、自らの考えを深めたり広げたりする力でもあります。そしてさらに、言葉を介して人や世界とより豊かに関わり、自らの人生をよりよく切り拓いていく力へつなげていくことが重要です。

今、私たちはA IやI C Tを活用することで、先人の知恵や最先端の知見に容易に触れることができます。しかし、それらを単に知識として習得するだけでは十分ではありません。言葉を手掛かりに、得た情報を複眼的に吟味したり、他者と対話したりして、自ら考え、判断し、価値観を形成していく力が求められています。そうした学びを支えるために、私たちは、先達が積み重ねてきた教育実践に学び、それらの中に不易の価値を見だし、自らの国語教室に生かしていくことが大切です。併せて、本研究大会の数々の提案や、情報機器を活用するなど新たな視点や手法を取り入れた実践を通して、流行のよさを共に考えていきたいと思えます。それらの積み重ねによって、虚子が見た「瀬戸の夏海」のように、私たちの教材や授業に対する見え方や臨み方も、新たな広がりや深まりをもってくださることでしょう。

本研究大会が、御参加いただく皆様にとって実り多い学びと交流の場となることを願っています。御多用の折とは存じますが、ぜひとも御参集賜りますよう御案内申し上げます。

日時 令和8年7月30日（木）

会場 今治市中央公民館(全体会場)、今治市地場産業振興センター、今治市総合福祉センター

主催 愛媛県教育研究協議会
後援 愛媛県市町教育委員会連合会
今治市教育委員会
上島町教育委員会
公益財団法人愛媛県教育会

【講 演】
演題 「学習指導要領の改訂に向けて、小学校国語科における、今、大切にしたい取組
～確かで豊かな言葉を育むために～」
講師 文部科学省初等中等教育局教育課程教科調査官
国立教育政策研究所教育課程調査官・学力調査官
大塚 健太郎 様

1 研究主題 確かで豊かな言葉の力を育む深い学びの探究

研究の視点	1 「確かで豊かな言葉の力」を育む単元づくり ○ 学びの系統性をふまえたねらいの明確化 ○ 学習者を主体とした教材の研究 ○ 魅力的で価値ある言語活動（かかわり）の工夫 2 「確かで豊かな言葉の力」を育む授業づくり ○ 解決すべきことを明確化・焦点化した学習課題の設定 ○ 共同学習者との対話的活動の充実 ○ 言葉の学びを促す振り返りの工夫 ○ 授業におけるICT活用の工夫 3 育まれた「確かで豊かな言葉の力」や学びの評価 ○ 学習活動の改善・充実に機能する形成的評価の工夫 ○ 児童生徒一人一人の学習成果を判定する総括的評価の工夫 ○ 学習意欲や自己の変容を認知する自己評価・相互評価の工夫 ○ 評価におけるICT活用の工夫
-------	---

2 期 日 令和8年7月30日（木）

3 会 場 今治市中央公民館 今治市南宝来町 1-6-1
（全体会場）
今治市地場産業振興センター 今治市旭町 2 丁目 3-5
（分科会 話聞、書く、読む）
今治市総合福祉センター 今治市南宝来町 1 丁目 9-8
（分科会 中学校、書写）

4 日 程

13:00		13:40		15:10			
受付	開会行事 (15分)	主題解説 (20分)	準備 (5分)	講演 (70分)	移動・準備 (20分)	分科会 ①発表 (20分) ②協議 (40分) ③助言 (10分)	各分科会で閉会
		13:35		14:50		16:20	16:30

5 開会行事

開会挨拶 愛媛県教育研究協議会国語委員会 委員長 渡部 和寛
来賓紹介

6 主題解説

愛媛県教育研究協議会国語委員会 研究部 渡部 真吾

7 講演

演題 「学習指導要領の改訂に向けて、小学校国語科における、今、大切にしたい取組～確かで豊かな言葉を育むために～」

講師 文部科学省初等中等教育局教育課程教科調査官

国立教育政策研究所教育課程調査官・学力調査官

大塚 健太郎 様

〈略歴〉

兵庫県生まれ。神奈川県公立小学校教諭、東京学芸大学附属小金井小学校教諭などを経て、2020年より文部科学省初等中等教育局教育課程課教科調査官。共著に『板書で見る全単元の授業のすべて国語 小学校3年上・下』（東洋館出版社）など。趣味は登山。「北アルプスの蝶ヶ岳山頂から見る槍・穂高連峰は最高に美しいです」

* 状況によって、ZOOM 等でのオンラインや録画での講演になる可能性があります。ご了承ください。

記録者

伊予市立中山中

愛南町立一本松中

栗田 響

山本 景子

8 分科会

分科会	提案主題	提案者	記録者	司会者	助言者
1 小学校 「話すこと・聞くこと」	「話すこと・聞くこと」における段階的な学習活動の工夫 —「クラスみんなで決めるには」の実践を通して(4年)—	新居浜市立惣開小学校 上甲 健登 新居浜市立角野小学校 大平 美咲	東温市立北吉井小 吉平 あおい	宇和島市立 北灘小 宮河 真紀	上島町立 生名小 校長 山本 祐美子
			内子町立内子小 水沼 朋子		
2 小学校 「書くこと」	自他の表現力を高めながら書く力を育成する指導の研究 ～作ろう！「ショートショート」の実践を通して(4年)～	今治市立吹揚小学校 西村 和泰	西条市立国安小 鈴鹿 侑子	松山市立 素鷲小 福井 友梨	松山市立 石井北小 指導教諭 大久保 礼子
			鬼北町立近永小 松本 康代		
3 小学校 「読むこと」	「主体的な関わり合いの中で考えを深める指導法の工夫 —国語科説明的文章「紙コップ花火の作り方」の指導実践を通して(2年)—	西条市立丹原小学校 中山 佳奈	西予市立宇和中 中野 正一	内子町立 五十崎中 正岡 颯人	愛媛大学 教職大学院 特定教授 田頭 良博
			宇和島市立岩松小 平田 美紀		
4 中学校	自走する小説の読み手を育成する学習サイクルの工夫 —「走れメロス」の魅力を論証するパネルディスカッションの実践を通して—	東温市立川内中学校 渡部 真平	久万高原町立 美川中 澤木 一敏	松山市立 南中 渡部 明日香	松山市立 高浜中 校長 小原 里佳
			新居浜市立船木中 久保 舜史		
5 書 写	確かな筆遣いと豊かな表現力を育む書写指導の工夫 ～ICTの活用と対話的な学びを通じた批評のプロセスを重視して(6年)～	八幡浜市立喜須来小学校 松浦 美生	大洲市立菅田小 曾根 さやか	西条市立 西条南中 毛利 花奈	上島町立 岩城小 教頭 友近 将道
			八幡浜市立 川之石小 大空 民加子		

9 参加費・資料代 無料

愛教研会員以外の方は、参加費・資料代（1,000 円）が必要となります。

10 会場図

《会場地図》



11 問合せ先

愛媛県教育研究協議会国語委員会事務局
愛媛大学教育学部附属小学校内
幸島 恭輔

TEL 089-913-7861

FAX 089-913-7862

mail: kojima.kyosuke.cv@ehime-u.ac.jp